

【ザノザーの認可と2剤投与の可能性】

NET 治療薬として抗がん剤であるザノザー（一般名：ストレプトゾドシン、Streptozotocin）が、日本でも認可されました。またサンドスタチンの改良型であるランレオチド（lanreotide）も現在治験中で、近く認可にいたる情勢にあります。認可され次第添付文書などを本ホームページに掲載予定です。

NET に有効な医薬品の数が増えると、これまで一般的に行われてきた単剤投与から多剤（当面は2剤）投与の可能性が出てきます。これまで2剤投与の実績はサンドスタチンなどごく僅かです。大病院では院内の規定が煩雑で中々2剤投与の実績が進まないのが現状です。患者のためにも臨床現場での多剤投与が進むことを期待します。また症状がさらに進んだ場合、抗ガン剤との併用も可能となってきます。例えばNETの臨床研究が盛んなドイツの Bad Berka での SIRT に 5-FU の併用、化学療法分野ではカペシタビンとテモダールの併用などが臨床試験されています。